

## 頭を殴られたような衝撃

山口県

宮川 みやがわ

洋司 ようじ



1997年8月、ときわ公園で初めてトイレ掃除をしました。「水こし」を目にするや臭いは強烈も、覚悟を決めました。やり出したら彫刻をする感覚で、へばりついた尿石を落とし懸命に磨いていました。「宇部掃除に学ぶ会」は、その

年の2月足立進さんが立ち上げ、山根佳志子さんが継ぎ、私が2005年ころ3人目の代表世話人に就きました。

その前年、青年会議所の勉強会で鍵山相談役のことを知りました。当時私は営業担当で、仕事量が急増し、効率よく要領よく顧客を増やせないかと悩んでいたころでした。

そんなとき、動画の中の相談役は「注文をいただくのに見積書を出したことはありません」と言っているではありませんか。びっくりして、この人はどんな手を使って注文を取っているのだろうかかと、食い入るように見ました。

すると「大きな努力で小さな成果」と言っています。なんだそれ：言い間違いじゃないの？「効率

よく要領よく」じゃないの？そのときの自分にはまったく理解できませんでした。

「努力して努力して、たった紙一枚分の成果しかなくてもいいのです。その積み重ねが大きな力になるのです」と、というようなお話だったと思います。金槌で頭を殴られたような衝撃でした。即本屋に行して相談役の本を買い、読むと感動の嵐でした。

私の考え方や行動が徐々に変わってきました。「凡事徹底」とても難しいです。「万事手抜き」で、ゴミを捨てても平気だった自分が、今は拾う側になりました。「上等な人がもつと立派になるのもいいけど、下等な人間が普通の人になることのほうがすごいよね」と仲間が言いました。

## 守り続けたい場所

長野県

牛山 うしやま

大輔 だいすけ



2001年、私は職場になじめず教師を辞めました。5年後小布施掃除に学ぶ会に参加し始め、教職に未練があったのか、長野便教会や鍵山教師塾にも頻繁に参加しました。

2015年、知人に誘われて参加した便教会総会で、人生を根底から変える話に出会いまし

た。職場で辛い境遇に耐えながら教師として立派に成長された、安井佑騎先生の姿を目の当たりにしたので。私と安井先生は同じ境遇にいましたが、生き方が決定的に違っていました。私は大いに自分を恥じ、いたたまれなくなって自宅近くの公園で草取りをしようと思いました。

始めてみると意外に楽しくて、毎朝の日課となりました。私は、この公園を人生再出発の場所にしようと思いました。一年後鍵山相談役に近況を報告すると、「そのうち『私も一緒にいいですか?』という方が現われますよ」というお言葉とともに、草取り鎌が数本届きました。これは大きな励みと希望となりました。

ところが、公園隣家の住人か

ら草取りのたびに罵声を浴びせられるようになりました。実は数年前から公園で遊ぶ子どもや住民も、私と同じ嫌がらせを受けていたと知りました。そこで、私は公園周辺の家を一軒ずつ回って相談会を持ちました。草取りをする以前の私では、信じられないことです。それから3年、トラブルは住民の協力もあって奇的に解消しました。

現在は相談役の予言通り、ともに草取りをして下さる方が現れ、草取り鎌を差し上げることができました。そして、これまでの幸せを思い起こすたびに、この公園は私が人生を出直すと同時に、平和を祈るための守り続けたい場所となっています。

(381-2215 長野県長野市稲里町中氷鉋888-5)

## 私の生き方を変えた掃除道

愛知県

水野<sup>みずの</sup>

庫次<sup>くらじ</sup>



1998年、梅村昭博様のお計らいで鍵山秀三郎相談役、田中義人顧問とご縁をいただき、トイレ掃除を体験して以来、24年間掃除に学んできました。相談役からは、心の荒みをなくす、凡事徹底、無駄を省く、多面的に見る、下座行、謙虚など、多くの

ことを学びました。畢竟、「我れ以外皆我が師」であり、「人としていかに生きるか」でした。

トイレ掃除では、とれないと見えた汚れは、やりもしないで諦めていました。しかし、時間をかけてやり続ければ元のきれいな状態よみがえりました。多面的に見ることや、やり方を工夫し、無駄を省き効率的に掃除をすることなどは、すべてのことに通ずると実感しました。

そのうち私は、他人の過ちを許し、優しく接することができるようになりました。背伸びせず、他人の目を気にせず、素直にありのままの自分でありたいと思っています。

台湾美化協会の徐重仁創開理事長ご夫妻や皆さまとの出逢い

も貴重でした。2003年の第1回大会には教える立場で参加しましたが、その後日本と台湾の歴史を学び、掃除実習や交流会を通じて尊敬しあう関係を築くなかで、台湾の皆さまに学びたい気持ちに変わりました。鍵山相談役も同じ思いを持たれたそうです。今後この関係が続けたいと思います。

個人的には、2014年に始めた春日公園のひとり掃除と、11年前からは松岡俊行さんと名鉄本宿駅の掃除を続けています。私たちの使命は、鍵山相談役の「世の中から心の荒みをなくしたい」との思いを、若い世代に伝えることだと思っています。生涯鍵山掃除道が続けてまいります。

(440821愛知県豊橋市春日町2丁目134番地6)

## 「鍵山掃除道」は満天の星

東京都

おおき  
大木

ひろみ



お掃除をしていると場が光るのを感じます。たばこの吸殻を拾った跡が、一瞬光ります。その光に、小さいけれど惹きつけられ、次から次へとゴミや吸殻が目がいき、拾う動作に、心も体も心地よさを感じます。

掃き掃除の楽しさは、初夏にはトウネズミモチ、秋は金木犀などの、道路一面の小さな花を、柄長箒で、さらりさらりと風を起こして寄せていくときです。星屑を掃く女神さまになった気分が味わえます。

おトイレ掃除では、便器をはじめトイレ空間を磨いた後、その輝きを見た子どもたち、大人たちにはほころぶ無垢な笑顔が最高です。お掃除の手と心がつながって、いのちの輝く瞬間です。

お掃除の会に参加し始めて約20年。学校でのおトイレ掃除会には100人以上が参加して、美しく揃えられた道具に、ワクワクドキドキな心も揃って、1班10人くらいが、磨き洗います。終われば蜂の子を散らすように帰って行き

ます。その人々の姿は、参加前とはうって変わり、朗らかに穏やかに力がみなぎって清々しいのです。

お掃除の道は一步一步で、自分の行き届かなさ、心の偏り、気づかなさを知らされます。きれいにする作業は単純ですが、五感をとおしてある感覚が目覚め、鏡の前にいるみたいに自身を気づかせてくれます。

そんなことを繰り返しているうちに、ぼんやりとしたとりとめない心も、いつしか一つのこと集中する落ち着きを与えられる気がします。身も心も一つになり、体のうちから悦びや力が湧いてくる掃除道は人生の居場所であり、満天の星のようで、満腔の感謝を感じています。

(174 0065 東京都板橋区若木2-14-14)

## 掃除研修で学んだこと

神奈川県

間仲 まなか

昶充 てらみつ



25年ほど前のことです。(株)

ローヤル(北千束)の時代に早朝掃除研修に参加したときに、印象深かったことが4つあります。

まずトイレ掃除です。一番印象に残ったのは床の拭き上げです。タオルを広げ、端から排水溝に向かって引いていくと、1回で7割程度の水が拭きとれることに

驚きました。

次は、会社周辺の街頭清掃です。北千束駅周辺では、切符売り場周辺が最も汚れていました。公衆電話ボックスの中も綺麗にしました。ゴミ置場では、段ボール・新聞紙等はそれぞれ綺麗にまとめて縛ります。ビン・缶はビニール袋にまとめます。会社に持ち帰り、ビン・缶は水洗い、缶はつぶして回収業者に出します。何ごとも徹底していました。

3つ目は、落ち葉はきです。普段は3人に1個チリトリを持ちますが、風の強い日には一人ひとり持ちます。ほうきも天候によって使い分けます。すべて創意工夫されています。

最後は、道具収納場所です。普通は外から見えない場所に作り

ますが、ローヤルさんに見える場所がありました。こうすることで、「掃除をする社風」ができることです。中の用具は整理されて、取りやすい状態で、「どこからでもご覧ください」と言わんばかりでした。

掃除の後、会議室でおむすびとお味噌汁(社員手づくり)の朝食は美味しく、体にしみました。おむすびの包み紙は小さくたたみ、ゴミのかさを少なくします。周りの人が喜ぶようにとの配慮からです。(利他の心)

この研修で多くの気付きと学びをいただき、私が今もお掃除を続けられているのは、このときの経験があるからだと思います。ありがとうございます。

## 復興地に学ぶ会・ 鍵山教師塾からの学び

大阪府

西貝<sup>にしがい</sup>

雅裕<sup>まさひろ</sup>



2011年震災発生、私は45歳。目にする現実を前に、自分には何もできなかったと言いき大谷育弘先生に、「復興地に学ぶ会」が始まりボランティアバスが出る、と聞きました。

このバスのおかげで何度も石

巻に通うことができ、その結果本当に多くのことを学ばせていただくことができました。そして多くの方とのご縁ができ、毎年「仙台を美しくする会」のお掃除にも参加し、今も復興地の方々との交流が続いています。

お掃除をしてきてよかったことは、人生が豊かになったことです。直接的には、整理整頓により場がきれいになって清々しい気持ちになったり、道具や物を大切に作る心が強まったことです。しかしそれ以上に、お掃除に取り組む方々の見返りを求めない姿勢や心に触れ、人として大切なこと、生き方の軸を教えていただいたような気がします。

教師の私は、お掃除を通して学級経営に成果が出ていること

がありがたいです。毎日の掃除指導、手順や道具管理、整理整頓、見えない所のほこりを取り除くことなどです。さらに、「ここまでやるか」という気持ちで取り組んだ結果、以前の担任学級と比較すると、中途退学や問題行動を起こす生徒数が減少してきました。

私は、お掃除の会に参加してなければ、今の自分はないと言いつてもいいかもしれません。「復興地に学ぶ会」や「鍵山教師塾」の学びは、とてつもなく大きなことでした。鍵山相談役や阿部豊さん、そして日本を美しくする会の絶大なご支援をいただいていることに感謝しています。

(575)021大阪府四條畷市南野1-5-4

## トイレ掃除で鼻を折られて

滋賀県

後藤

敬一



私が社長に就任した1994年、第2回大正村掃除に学ぶ会で鍵山秀三郎相談役にトイレ掃除の手ほどきを受けました。初めはおっかなびつくりでしたが、最後は顔が便器にくっつくくらい懸命にやりました。

社長として、「大きなことをやらないと、役員や先輩に認められない」と気負っていた私の鼻が折れた瞬間でした。実力もないのに、最初から大きなことができるわけがありません。「誰にもできる簡単なことを、誰にでもできないくらい続けることが、やがて実を結ぶ秘訣ですよ」と、相談役に背中教えていただきました。

1996年9月7日、第1回滋賀掃除に学ぶ会を、中江藤樹先生ゆかりの藤樹神社で16人で開催しました。その後、学校にお願いに行っても断られて掃除場所が見つからなくなり、会場が見つければ人が集まらないなどで、結局3年間活動を休止しました。

そんな折り、掃除仲間の西澤亜希子さんから「一人で頑張らず、

仲間と相談しながらやっでは」という、思いのこもったハガキをいただいたことがきっかけとなり、活動を再開しました。彼女からのハガキは私の宝物です。

2010年、滋賀県教育委員会の学校への出前体験学習を支援する制度「学校支援メニュー」に応募しました。「異動先の学校でもやりたい」先生の申し込みなどもあり、県全域から毎年30校の依頼が来るほどになり、事務局を当社内において対応しました。

私は2015年から2021年まで、関西ブロック長のお役目もいただきました。手足を使って人を喜ばす掃除の本質と力を、鍵山相談役に学ばせていただけて、心より感謝申し上げます。

## 一隅を照らす光に

東京都

塩貝 しおがい  
博 ひろし



1952年10月、シオガイグ  
ループの前身塩貝商店を立ち上  
げた。家庭を顧みず事業の発展  
を優先してやっていて、1993  
年知人に倫理法人会を紹介され  
た。

「人は美しさを求めてやまな  
い。環境を美しくする掃除は、小

我を捨てて大我に生きる、きわめ  
て日常的な修行」という言葉に感  
銘を受け、「まずは実践」と決心  
した。地元の王子駅を早朝清掃  
していると聞いて参加したのが、  
掃除との出会いだった。

1997年「日本を美しくする  
会」に出会い、イエローハット創  
業者鍵山秀三郎さんの「一つ拾え  
ば、一つだけきれいになる」とい  
う掃除哲学を知り、ひたすら笑  
顔で掃除に励む人々を見て、わ  
が社も実践していこうと思った。

まず、息子たちと一緒に社内、  
事業所を清掃した。さらに、社員  
とともに清掃していると、事業所  
がきれいになり、社員に協調の輪  
が生まれ、社内が気持ちよくなっ  
ていった。「感謝」という言葉が、  
社員にも自然に根づいていった。

2003年、「ニューヨーク  
掃除に学ぶ会」を立ち上げた。  
2012年までの10年間、毎年  
1回、現地の人々と一緒にシテイ  
センターなどを掃除した。参加総  
数393名、うち日本からの参  
加は、およそ3分の2であった。

海外にも「掃除道」を広げるこ  
とができること知った。異国の地で  
掃除することは簡単ではないが、  
無心に掃除をしていると、何かが  
芽生え、現地の人々との交流につ  
ながっていった。

創業以来紆余曲折があったが、  
縁あって「掃除」に出会い、「素晴  
らしき人生」への気づきもあって  
道は開いた。小さくてもいい、世  
の「一隅を照らす光」となるよう  
「掃除」を続けていきたい。

(114-0002 東京都北区王子1-14-1403)